

創立百周年と将来に向け 教育・研究・医療・社会貢献を深化



福岡大学
永田潔文 学長

昨年12月、第10代学長に就任した永田潔文教授。「福岡大学は、教育・研究・医療・社会貢献の4つの大きな使命を帯びている。これを深化させていくことで、10年後の創立100周年、さらにはその先を見据えて発展していきたい」と抱負を語る。

約2万人の学生が1つのキャンパスに集い、多様な価値観をぶつけ合って切磋琢磨する。学部の垣根を越えた授業と課外活動を通じて、豊かな人間性を持った人材へと成長する。

大学の本質である「教育」では、9つの文系・理系学部を備えた総合大学として、それぞれの学部学科の教育目標にあわせたカリキュラ

ムを編成。さらに教職員のレベルアップや施設・設備の充実などに注力することで、学生の人的成長を支援するとともに、全人教育を実現する。

「研究」については、大

学が生み出す知的財産を通じて社会への貢献を目指す。そして研究活動の公開や共同研究、技術相談、産学官連携など、社会の要請にこたえるために組織を常に進化させている。近年ではカーボンニュートラル達成に向けて「福岡大学カーボンニュートラル推進拠点」を設置。さまざまなアプローチで持続可能な社会の実現に向けた取り組みに力を入れる。

福岡大学の大きな特色である「医療」。福岡大学病院、福岡大学筑紫病院、福岡大学西新病院の3病院を展開し、地域の中核的な先進医療センターとして、高度で人に優しい医療の提供とともに、それを担う優れた医療人を育成する。

福岡大学病院新本館が稼働

さらに今年5月には、地下1階・地上11階の福岡大学病院新本館（仮称）が稼働を開始する予定で、3大疾病を中心に人口動態を見据えた診療体制の強化や救急医療の機能充実を図る。地域との交流や「社会貢献」も注目される。自治体や企業、地元スポーツチームと連携した「福岡大学スポーツ・健康まちづくりコ

ンソーシアム」では、大学の施設や人材を活用して、子供からお年寄り、障がい者など多様な世代・立場の人々との交流活動を支援し、活気あふれるまちづくりを目指す。また、中学校の部活動地域移行を支援するため、専門知識と経験を持つ学生がスポーツ指導を行う取り組みは、全国から注目されている

永田学長は「地域に頼られる大学、活力ある大学を目指す。そのためには『人の育成』が重要な課題。学生一人ひとりが時代を切り拓く人材として成長し社会で活躍できるよう、魅力的な教育・研究が展開される環境を整備していく」と力強く語った。



人文学部／文化学科 歴史学科 日本語日本文学科 教育・臨床心理学科 英語学科 ドイツ語学科
フランス語学科 東アジア地域言語学科 法学部／法律学科 経営法学科 経済学部／経済学科
産業経済学科 商学部／商学科 経営学科 貿易学科 商学部第二部／商学科 理学部／応用数学科
物理科学科 化学科 地球圏科学科 工学部／機械工学科 電気工学科 電子情報工学科 化学
システム工学科 社会デザイン工学科 建築学科 医学部／医学科 看護学科 薬学部／薬学科
スポーツ科学部／スポーツ科学科 健康運動科学科

〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号
TEL (092) 871-6631 (代) <https://www.fukuoka-u.ac.jp/>

